

平成 27 年ヒラメ稚魚分布密度調査結果 (太平洋) について

当研究所では太平洋における天然ヒラメの稚魚分布密度調査を平成11年から行っており、平成27年は7月14日、8月7日、9月16日に桁網(水工研Ⅱ型)を用いて三沢市沖8点で行いました(図1)。ヒラメの分布密度は桁網の漁獲効率を0.28とすると0~368尾/1,000m<sup>2</sup>の範囲にありました(表1)。採集したヒラメの全長組成は7月14日に水深5、7mで30mm台、8月7日に水深5、7mで30~40mm台、9月16日に水深5mで100mm台、水深7mで80~110mm台が主体でした(図2)。水深別平均分布密度の最高値を着底指数とすると、平成27年は128(表1)であり、平成11年以降では平成16年(着底指数212)に次いで2番目に高い水準でした(図3)。これまでの調査結果を見ると、太平洋南部では着底指数が高かった年の翌年に1歳魚の漁獲尾数が多くなる傾向があることから、1年後に漁獲される本年生まれの漁獲量は高い水準になると期待されます。

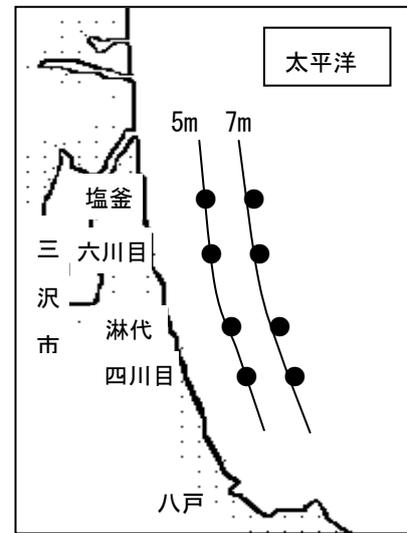


図1 調査地点

表1 ヒラメ稚魚分布密度

| 調査月日/調査点   | 水深 5m |    |     |     | 水深 7m |    |     |     | (尾/1,000m <sup>2</sup> ) |       |
|------------|-------|----|-----|-----|-------|----|-----|-----|--------------------------|-------|
|            | 四川目   | 淋代 | 六川目 | 塩釜  | 四川目   | 淋代 | 六川目 | 塩釜  | 5m 平均                    | 7m 平均 |
| 2015.07.14 | —     | 2  | 0   | 2   | 0     | 0  | 2   | 5   | 1                        | 2     |
| 2015.08.07 | 134   | —  | 37  | 145 | 36    | 30 | 368 | 164 | 103                      | 128   |
| 2015.09.16 | 15    | 22 | 19  | 15  | 29    | 34 | 18  | 22  | 18                       | 26    |

\* 桁網の漁獲効率を0.28として算出した。

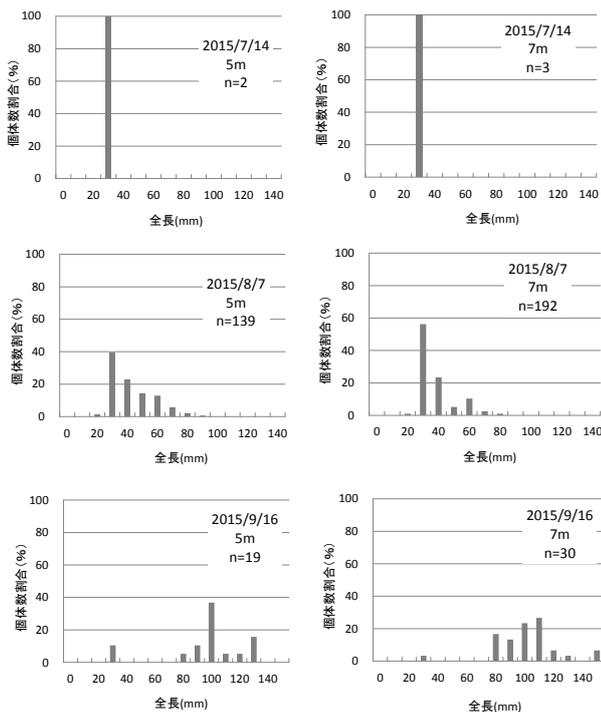


図2 採集したヒラメ稚魚の全長組成

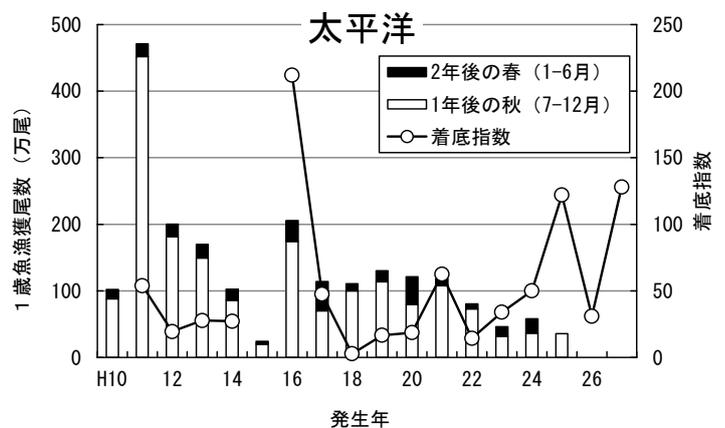


図3 太平洋のヒラメ着底指数と1歳魚漁獲尾数の推移